

# 中部部報 第1号

2016. 7. 1～2017. 6. 30

## 主 題

国 際 会 長 私たちの未来は、今日から始まる。  
ア ジ ア 会 長 ワイズ運動を尊重しよう。  
西 日 本 区 理 事 ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！  
中 部 部 長 出会い、ふれあい、響き合い、前へ進もう



出会い、ふれあい、響きあい、  
前へ進もう  
(副題：ワイズライフをたの  
しもう！)

部長：川口 恵 (名古屋)

## 中部 活動方針

・ワイズの活動は、発見・感動・出会い・自己研鑽の場です。各事業への参加、例会、交流を通して、楽しみをより多くの人と分かち合いたいと思います。  
・中部の未来を考え、それぞれが今できることをしましょう。  
・ワイズ行事の情報共有の推進と広報をすすめていきたいと思います。

## 活動計画

### Yサ・ユース事業

YMCA とユースに対する理解を深めよう。  
YYY フォーラム。チャリティラン等 YMCA 活動の支援

### 地域奉仕・環境事業

各クラブでの事業を通して、地域への奉仕を進めよう。

芋ほり、地域でのコンサート等の広報・

### 支援・参加

#### EMC 事業

EMC シンポジウムを通して、EMC 主任と中部の未来を考えよう。

定例会を大切にしよう。(例会は出会い・自己研鑽の場)

#### 国際・交流事業

国際大会・区大会・部会・他クラブ例会に参加し出会い、ワイズの輪を広げよう。

IBC. ・DBC との交流の推進。

#### メネット事業

メネット事業への理解を深め支援しよう。

メネットアワーの支援。

前期荒川部長は「踏み出そう、次の一歩のための今の一歩を」と題して、荒川部長とグランパスクラブと一体で全国リーダー研修会、南山と神沢でのファミリーコンサート、リーダーの

卒業を祝う会、東北支援ツアーなど素晴らしい活動をされリーダーとの距離も縮まりました。他クラブでも、クラブの持ち味を生かした温かくて楽しい活動ができ、全体として活気があり何歩も進んだように思います。中部では今年も100人を切ってスタートしますが、出会いを大切に、仲間との活動を楽しみながら、前へ進んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

部長通信 1号にて主な行事案内をしております。今後も部長通信のほか、中部ホームページにて行事案内と報告をしていきたいと思っております。

1年間よろしくお願い致します。



**2016-17 中部書記を  
担うことになりました。**

書記：谷川 修 (名古屋)

川口部長の強い指名を受け、中部書記を担うこととなりました谷川です。思えば10年前でしたでしょうか？ 故長井 潤の懇請により中部の部長を拝命した時のことが思い出されます。「僕が書記として支えるから、頼む、中部部長を名古屋クラブから輩出しないといけない。谷川さん やってくれ。細かなことは全部 自分がやるから。」こういう殺し文句で口説かれました。長井ワイズの指示に従ってれば良い、楽な部長でした。そんな過去の私とは正反対なのが川口部長で、何でも率先してすすめます。私はその指示に従っているような書記で、これではいけないと思いつつ、川口部長のペースに乗せられている感じです。

今、ワイズメンズクラブはどんどんと会員数が減少、このままでは消滅してしまう そんな気がします。ワイズメンズクラブに限らず、ロータリークラブなども会員数が激減している

ようです。全体にゆとりがなくなっているのでしょうか、他人のことなど構ってられない、そんな風潮が広まっているのでしょうか？ 貧富の格差がどんどんと広がっていることと関係しているのでしょうか？ 一方で、国際支援のNGO、福祉や災害系、街づくりなどNPO団体や住民の自主組織的な活躍が目を見えます。そうした働きとリンクできればワイズメンズクラブも再び活性化するのでしょうか？ そんな問題意識をもちつつ、目の前に示された課題を確実に遂行していきたいと思っています。皆様のご支援とご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。



**クラブ間、部全体の協働で、  
もっと充実したプログラム  
を**

会計：川本 龍資 (名古屋)

2016-17年度、中部会計としてお世話になります川本 龍資です。

川口部長のもとで展開されます各プログラムを、会計の側面から全面的に協力させていただく事を第一義として活動いたします。YMCA・ユース、地域奉仕・環境、EMC、交流+国際フェンド、メネットの全5事業が、中部全クラブにてそれぞれの得意分野を活かされ活動されることと思いますが、一クラブのみの活動に留めておくには、余りにも「もったいない」活動について、クラブ間での協働、更には部全体が協働し、もっともっと充実したプログラムに展開していければ良いナーと思っております。

各クラブから捻出されている貴重な「部費」をこのようなプログラムの為に有効に活用し、納得性のあるものにしていきたいと考えています。この1年間どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



## ポジティブな 感性で前へ前へ

直前中部部長 荒川恭次  
(名古屋グランパス)

6月26日大阪で開催された第19回西日本区大会2日目の引継式において、私の胸にあった部長バッジは、川口部長の胸に無事移りました。約半年間の準備期間を助走として離陸した新中部体制は、川口部長を中心に新年度を万進されることと思います。地域的広範囲に分散した中部の各ワイズメンズクラブとの間を結んで、連携された中部を維持して頂きたいと思えます。

また、5つの事業においては、西日本区事業主任と中部主査との連携を觀つつ、西日本区理事方針の遂行は、西日本区役員の一員として各クラブと西日本区とのパイプ役として、いろいろな潤滑剤を取り入れながら「ワイズライフを楽しみながら」活動されてはと思います。

中でも中部はEMC事業で会員数的に深刻な状況となってきております。しかしこれをネガティブにEMC事業だけの狭い領域で捉えるのではなく、他事業、「Yサ・ユース」、「国際・交流」、「地域奉仕・環境」と併せて進めて行かれれば、おのずと答えが見えてくるのではないかと思います。そして影に隠れていますが「広報」は重要な要素を持つので、SNS、メール等のツールは十分に活用すべきかと思えます。

さて、川口中部部長方針「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」は、ポジティブな感性で共感し合いながら一步一步前に進む。過去はどうであれ新しい目的に向かって進もうという気概が強く感じられます。

例えば、若い新しいワイズメン確保のためには、既存クラブへの勧誘だけではなく、新クラブの設立という考え方もあります。しかし、こ

れは過去を参考とせず、全く新しいポジティブな感性で取り組む必要があると思います。

中部キャビネットが連携して何事にもポジティブな感性で前へ前へと進むことにより、より良い中部の将来に繋がるものと思います。

私は、直前部長として、中部新体制の活動状況を見守らせていただきます。頑張ってください。



## YMCAとの絆を強くして

次期部長 山内ミハル  
(金沢)

金沢クラブのチャーターは1947年7月、一か月遅れて同年8月に名古屋クラブが創設されています。日本では5番目と6番目にできた古い歴史を持ったクラブです。この2クラブが加盟する中部は8クラブが所属していますが、会員数が少しずつ減少しているようです。なぜか？理由の一つに、若い会員の入会があまりなく、会員の平均気力に衰えがみられることがあると思います。年齢が年々上昇しているため、体力・気力に衰えがみられることがあると思います。ワイズメンズクラブの目的の第1は、「奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する」と西日本区の定款に謳われています。YMCAで育てられた青年達が、将来ワイズメンズクラブの会員として活躍してくれるように、YMCAとの絆を強くしておくことが必要ではないでしょうか。

今一度我々の活動内容を見直し、若者たちにとって魅力あるものにしていかなければならないと思います。そのためには私たち自身がワイズメンズクラブの活動を心から楽しみ、活力に満ちた生活をしたいたいものだと思います。中部は東西に遠く離れ、8クラブ中6クラブがある名古屋、四日市から見れば金沢は陸の

孤島、新幹線が開通した今では、東京に2時間半で行けるのに、名古屋へは3時間もかかるのです。次期中部部長として皆様には迷惑をかけることの方が多いと思いますが、「楽しくなければワイズじゃない」をモットーに頑張りますので、ご協力をお願いします。



### 2016-17中部監事を 受けて

中部監事:長谷川 和宏  
(名古屋東海)

「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」と川口部長の掛け声で16-17期がスタートした。これを受けて、各クラブも会長を先頭に新しい取り組みが始まる。部則には「監事は、部の行政及び財政監査を行い」とある。クラブ単独の活動の他に中部には経験値のある年度行事や活動もあるが、新規の活動も多々計画されます。そんな時こそ、全体としての統合と調和を求められるように思います。中部並びに各クラブがそれぞれ、一つ一つの行事や活動を実直に展開され、PDCAの手法を活かし、結果として実績・成果を上げ、何よりもYMCAに貢献がなされるように見守っていきたいと思います。簡単なようで実はこれが結構、骨が折れます。その多くが、Do:実行するだけに終わってしまいがちになるのです。Plan:計画を立て、Do:実行する。そしてCheck:評価し Action:改善する。P→D→C→Aときて、また次のPに進む。このサイクルをクルクルと回すことで、継続的な改善が可能だと思います。生産や製造の現場だけでなく、ワイズのような非営利のボランティア活動にとっても、参加する一人一人が、うまく前に進めるためにどうするか。振り返るとはどういうことか。経験を次の活動に活かす

ために何をすれば良いかなどを考え、合わせて皆の知恵と力の結集が必要です。中部の活動が出会い、ふれあい、響きあい、前へ進むように、一歩でも一歩でも。そんな視点から行政監事・財政幹事として務めていければと思っています。皆様のご支援をお願いいたします。



### YMCA の行事に積極的に参加 しよう！

YMCA サービス・ユース事業主査  
山田 英次(名古屋東海)

YMCA 運動の中心は青少年育成を願う会員の集まり(アソシエーション)です。ワイズメンはYMCAの会員であり、ワイズメンズクラブはYMCA運動の担い手の一員であります。本来、YMCAの活動は活発な奉仕活動などを通して青少年が自ら成長していくことに助力することにあります。

ワイズメンズクラブの目的(信条)は「青少年のためにYMCAに尽くそう」で、青少年の成長をサポートする働きが期待されています。

名古屋YMCAの場合、年間多くの行事が計画され、地域や青少年のために展開されています。そのプログラムの幾つかはワイズメンが実行委員長の責を担っていますが、もっと多くのワイズメンが計画立案、実施に参画して欲しいと思います。

Yサ主査としては、これらの行事の情報を一早く把握してその内容、意義、目標などを皆さんにお知らせし、Yのスタッフ、ユースリーダーと共に働けるよう「情報の共有」に務めたいと思っています。

各クラブの会長、YMCA サービス担当委員の皆様のご協力をお願いするとともに、ワイズメン、メネット、コメントの皆さんの積極的な参加をお願いします。





## 広めよう地域に奉仕の輪を！

地域奉仕・環境事業主査  
薦田正男（津）

西日本区地域奉仕・環境事業主任の福島貴志氏主題 「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよう」

中部主査主題 「広めよう地域に奉仕の輪を！」

中部の各クラブが取り組んでおられる事業が地域奉仕・環境事業です。地域に出て、地域の方たちにワイズの働きを理解していただき賛同を得られるならば、それは即 EMC につながります。各クラブの皆さんが働きやすいようお手伝いができるように努めたいと思います。CS 資金の有効な活用をお勧めし、各事業の成果を期待しております。また、クラブ単位でなく合同で実施することでより大きな成果も得られると思います。

一人ではありません。中部の全員が仲間です。身も心も一つにして働きましょう。

西日本区で目標としております各種献金にご協力ください。

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. CS 献金        | 1500 円/1 人 |
| 2. TOF 献金       | 1400 円/1 人 |
| 3. FF 献金        | 800 円/1 人  |
| 4. ロールバックマラリア献金 | 800 円/1 人  |
| 5. 熊本地震災害支援     | 1000 円/1 人 |
| 6. 東日本大震災支援     | 1000 円/1 人 |



## E・M・Cを考えよう

中部 EMC 事業主査  
松原 行謙  
(名古屋グランパス)

ワイズ中部は長い歴史があります。1947 年 7 月に金沢クラブが、同年 8 月には名古屋クラブがチャーターされました。以来 69 年、着々とクラブが設立され、最盛期には 12 クラブが、現在は 8 クラブ約 100 名のワイズメンが活動を継続しています。しかしメンバー数はここ数年右肩下がりの減少が続いており、このまま推移すれば数年先には先輩諸氏が必死で築いてこられたワイズ中部は消えてしまうのではないかと。というネガティブな想いが頭の中を過ります。そこで、この一年をターニングポイントとして折り返してみませんか。

川口部長の活動方針を実践しましょう。

- EMC シンポジウム等を通して、EMC 主任と中部の未来を考えよう。
- 定例会を大切にしよう。（例会は出会い、自己研鑽の場）そして、山藤 EMC 事業主任の事業方針を理解して、今後に備えましょう。
- 入会候補者への事前オリエンテーションの実施又、入会歴の浅いメンバーへのオリエンテーションの実施行いメンバーの成長と親睦を図る。さらに、目標を立てましょう。次の表彰基準をクラブで話し合い、そして実行しましょう。
- EMC 優秀クラブ賞：この 1 年 1 名の入会式を計画しましょう。
- ノンドロップ賞：この 1 年退会者を出さない雰囲気クラブ員全員で意識しましょう。
- 年間出席 90%達成賞：例会は 100%出席を意識して個人スケジュール管理しましょう。
- EMC 事業パートナー賞：今期で過去 3 名以上を入会に導いたワイズメンを紹介願います。

以上の一つ一つを着実に実行すれば何かが変わると予感できます。今を変えれば未来も変わることでしょう。クラブメンバーみなさんで話し合ってみませんか。

来年の西日本区大会では、みなさんの所属クラブが何枚の表彰状を獲得できるのか楽しみにしております。



### 交流はクラブメンバーみんなで

国際・交流事業主査  
都築 正和 (名古屋南山)

今般、「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」を主題とされた川口部長の下、国際・交流主査を担当します南山クラブの都築です。

岩本日本区理事は「交流はワイズの醍醐味」森田事業主任は「ワイズメンの誇り、喜び、愉しみ」川口中部部長は「国際大会、部会、合同例会、他クラブ例会で、出会い、ワイズの輪を広げよう」と述べられています。特に国際交流(IBC)プログラムは資金的にも体力的にもハードでタフさが要求されるプログラムです。

キーマンが必要であり、キーマンが退会してしまうと交流が途絶えてしまう、或いは個人的な交流になってしまいクラブの交流ではなくなる恐れがあります。

IBCを締結しているクラブは、メンバー皆で共有しどんな交流ができるか再確認し、未締結クラブはIBCを前提とした合同例会を企画したと思います。本年度は台湾で国際大会が開かれます。私自身参加しますので交流を深め、大いに愉しんできたいと思ひます、国内交流プログラム(DBC)について、未締結クラブは環境の近いクラブと締結したり、合同プログラムを企画してはと思ひます。

(第20回西日本区大会における表彰基準)

- ①新規 IBC、DBC 締結クラブ
- ②YEOP, STEP 事業に積極的に取り組んだクラブ
- ③国際大会、IBC、BDC 他クラブへの訪問参加数が顕著なクラブ
- ④BF ファン達成上位クラブ (10 クラブ)



### メネット事業への理解を深めよう!

メネット事業主査  
郷戸 正光 (四日市)

今年度の中部メネット主査を務めさせて頂く事になりました四日市クラブの郷戸正光でございます。

現在中部では、メネット会として正式に活動しているクラブは、金沢クラブ、名古屋クラブの2クラブですが、それ以外のクラブにおいても、YMCAに関わるプログラムや特別例会に対しメネットも活動に協力しています。

今期のメネット事業国内プロジェクト「フリースクール箱崎自由学園えすぺらんさ支援」を中部のメネットならびにメンの皆さんに深く理解して頂き、来期以降、中部にもあるフリースクール支援に繋げていければと思っております。まずは、8月28日(日)に行われる中部合同メネットアワーに多くのメネットの参加を募り、プロジェクトの浸透を図って参ります。至らない点が多々あると思ひますが、メネット事業発展に向けて精一杯の尽力をさせて頂きます。

皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

- 2、中部各クラブメネット会長、連絡員名  
金沢クラブ 数澤輝子会長  
名古屋クラブ 深谷

※メールは西村清メンへ

名古屋東海クラブ 浅野猛雄会長  
名古屋南山クラブ 杉山弘時会長  
四日市クラブ 郷戸正光 中部主査  
名古屋グランプス 服部庄三

メネット事業委員長  
津クラブ 薦田正男メネット事業委員長  
金沢犀川クラブ 平口哲男会長



燃やそう生きる力を！  
(2期連続会長就任に寄せて)

名古屋クラブ会長  
河部 薫



更なる絆を育てよう！

金沢クラブ会長  
西 信之

Y's のクラブに入会して間もない私が金沢クラブの会長に指名されて、いささか困惑していましたが、DBC の交わり、西日本区大会、研修会、中部部会、評議員会などに出席し、クラブの皆さんの情熱に触れ、大いにやる気が湧いてきました。

金沢クラブは、歴代会長や中部部会役員等の経験者を中核とし教会の信徒や YMCA 関係者で構成されていますが、これらの古参会員が幹となって兄弟姉妹の絆を支えています。例会では、様々な卓話が用意され、メネット会主催の食事会や飲み会も多く、大変楽しい交わりが続いています。このような様々な集まりに出席して、この仲間意識は何だろう、この熱心さはどこから来るのだろう、と思わされています。そこには、大変強い絆があります。

金沢クラブは、滋賀蒲生野クラブ、仙台清瀬川クラブと DBC の交わりを持っており、交互に訪問しあっていますが、この交わりを長く続けるには、2年おきの相互訪問とし、DBC の数を増やしてより多くの地域の皆さんとの交流を実現してはと考えています。このような、兄弟姉妹の絆を更に強めて、中部のたんこぶである金沢の地で特色の有るワイズの会を育てていきたいと思っています。

明日染むかのように生きよ！！永遠に生きるかのように学べ マハトマ・ガンジー

天から与えられた私たちの命は誰のものですか？何の為に現世に生かされているのでしょうか？ワイズメンズクラブはその疑問の答えを私たちに与えてくれています。

人のことを思いやり、他を受け入れ、認め、許す心、ワイズ精神で最も大切なことです。来年度は設立 70 周年を迎えます。歴史ある名古屋クラブです。栄枯盛衰は世の常です。いかにして先人が積み上げたものと精神を継承し発展充実させるかは、今所属しているメンバー一人ひとりの強い意志にすべて委ねられています。人任せにすることなく、愛情をクラブに注ぎ込み、義務感を強く持ち、楽しくワイズ生活を送りましょう。五体満足で生まれ、人間としての能力を高いレベルで与えられている人には、神様や仏様は、より大きな困難や試練の荷物を与えられます。(より忙しい人には更なる忙しさを)

より賢く、知恵と工夫を巡らせ、与えられる愛ある試練に立ち向かい、より良く祝福される人間としての人格を研鑽し合うなかで磨き上げていきましょう。

「今日やらないことは、10 年経ってもやれない」YMCA に縁を結ぶすべての青少年を陰となり光となって支え、日本のため世界のため命の炎を燃やしましょう。

(クラブメンバー30名を実現しよう)「明日ありと思う心の仇桜、夜半の嵐の吹かぬものは」！！！！親鸞



而今(今を精一杯生きる)

名古屋東海クラブ会長  
浅野 猛雄

今回4回目の会長を引受けることとなりました。最初に会長になった5月末に親父が亡くなりました。77歳でした。私は今年の5月でその歳になりました。会長としての最後のご奉公の積りで、会長主題を而今(ただ、今を精一杯生きる)と致しました。この言葉は名古屋YMCA総主事の中村 隆さんが『名古屋青年』の1月号のコラムで使われていた言葉を引用させて頂きました。

具体的な目標は岩本理事の「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増」の方針に従い、

- ① 出席率90%以上(クラブも個人も)を目標とする。
- ② 第二例会も積極的に参加を呼び掛ける。
- ③ 実質メンバー数20名(広義会員・功労会員を除く)を目標とする。
- ④ 来年5月14日の50周年記念例会の準備を進める。
- ⑤ ユースの活動を援助すると共に、山田Yサ・ユース主査の活動を補佐する。
- ⑥ 新しいIBC締結クラブ相手を探す。



楽しい集いを YMCA と共に  
名古屋南山クラブ会長  
杉山 弘時

今年も9名でのスタートです。昨年度同様に無理せずに、地についた活動が基本です。

定例の例会は少人数ゆえゲストスピーカーを招いての例会はなかなかできません。他クラ

ブとの合同例会を昨年同様開催する予定です。新しい試みとして、10月と5月の例会は農場での例会とします。10月例会はイモ掘りに備え準備する例会、5月例会はタマネギの収穫例会で、収穫したタマネギは御岳・日和田高原キャンプ場でのCAMPの食材として提供します。もちろん作業が終わったあとは窯を囲んでBBQ & PIZZA PARTYです。

春から秋までの間、社会福祉団体、幼稚園の遠足、YMCAの野外活動グループ等多くの子供達が南山農場を訪れます。農場での活動がもっと幅広くなるよう、昨年に引き続きPIZZA窯周辺と水場廻りの整備を行います。

少人数のクラブですが、YMCAのOB、会員の友人、会員の教え子等、人手が必要な活動をサポーターとして支えてくれる多くの仲間がいます。南山ファミリーYMCAや南山幼稚園の関係者とは、ピースフルサンデー始め年間いくつかの活動を協働します。定例の例会だけでなく、様々な活動の中にYMCAに連なる多くの仲間とふれあい、豊かで楽しい時間・空間を共有すること。そんな南山らしさを今年も続けます。



わたし達は、決心失望しないなどしない。どんな失敗も、新たな一歩となるから。

四日市クラブ会長  
塩川 彰彦

2016-2017年度の四日市クラブの予定活動方針をお伝えいたします。

ここ数年で、四日市クラブは退会者が続出し、いかに、つまらない、おもしろおかしくもないクラブ運営をしてきたかが明白になりました。

そもそもワイズメンズクラブは、その創立の骨子から、YMCAのサービス機関として、その活動を支援していくということなのですから、「根幹的な事業内容は米国ミシガン州で1922



年度に創立されて以来の基本的方針に従う」ということで問題はないと私自身は考えています。

しかし、時代は想像以上のスピードで変化していきます。時代から見放された活動を行う団体は、当然自然淘汰されてしかるべき。四日市クラブも、まさしく衰退していくクラブの典型。ご立派な文言をクラブ会報や、定例会で多用しても、まったく空洞の絵空事。

クラブブリテンにしても、あいもかわらずおもしろおかしくもない議事の決議がどうのこうのと並べられているだけ。誰もこんな活動をしている団体には入りたくもないなと思わせる広報手段の典型のようなコンテンツ。これまで、誰一人として、「四日市ワイズメンズクラブのブリテンはいいですね〜！」と、お世辞の一言も言ってくれた人は皆無。よっぽど、おもしろおかしくもない記事だらけ。このままでは、ゴミの山がネット上アップされていくだけ。

何て素晴らしい活動を行ってきたのかと、会員が錯覚して自画自賛してきたすべての行動は、衰退を招く結果だけになってしまっている事実を踏まえ、勝手に自画自賛しながら、素晴らしい、地道な活動を行っていただければ会員が増えるなどと、幻の近未来シュミレーションをすることはやめ、本年度はどうしたら、新しい方が会員として四日市クラブに入会していただけるのかの一点に絞って、活動を展開してまいります。

会員増強3年計画の初年度として、本年度は、やること成すことすべて失敗という覚悟で、ビジターズイヤーの一年としてスタートいたします。

一に、ビジター、二にビジター、三にビジターという一年となります。

会長主題：「わたし達は、決して失望などしない。どんな失敗も、新たな一歩となるからだ！」

**We are not discouraged, because every wrong attempt discarded is another step forward.**

会長副題：「わたし達は失敗することは耐えられるが、挑戦しないことは耐えられないんだ！」

**We can accept failure, everyone fails at something. But we can't accept not trying.**

上記会長主題、副題に基づき、過去の思考、取り組んだ事業は「さようなら〜!!」。トライアンドエラーを何万回も繰り返しながら、試行錯誤の一年、再建を目指す一年といたします。



**明日へ、ワイズライフを楽しもう！**

名古屋グランパスクラブ  
会長 早川 政人

今期、名古屋グランパスワイズメンズクラブの会長 早川です。主題は「明日へ、ワイズライフを楽しもう！」にしました。

私自身 ワイズの活動を通して諸先輩のワイズの方々と良い出会いが大変多く、楽しいワイズライフを過ごしている事を実感しております。入会以来もう20年になりますが、入会当時はメンバーはまだ若く何事にもパワーを感じさせておりました。今はメンバーも還暦を過ぎ、幾らかパワーが落ちてきていますが、それでも協力しあって楽しんでいます。メンバーの平均年齢を若くする必要性が迫ってきています。西日本区のクラブには、元気のある地域も有り、かなりの差があります。中部にも新しい趣向を取り入れ、メンバーの増強が必要になりました。中部のクラブの中には、新しいメンバーの入会もあり、我がクラブも刺激を受けています。まずクラブが楽しい事を外部に発信す

る方法を考えていますが、まだ、始めたばかりで成果は出ていません。

前期には YMCA と色々なプログラムを行いました。我がクラブ独自のプログラムは少ないかもしれませんが、YMCA を通して外部への事業の発信を積極的に行おうと思います。継続をしているプログラムは続けていけば成果に繋がると確信しています。

各クラブのプログラムもおおいに参考にさせていただきたいと思いますので、中部の各クラブには何かとご協力を御願います。御願いますので宜しく御願致します。



## ワイズで学び ワイズで奉仕

津クラブ会長  
亀野 貞

会長主題「ワイズで学び ワイズで奉仕」は私が5年前にワイズに入会した当時の津クラブ会長主題でしたが、私には今も新鮮な響きを感じています。本年度も会長主題として掲げさせていただきます。

本年の活動として、ワイズメンバーとして必須の基礎知識を諸先輩から吸収しつつ、メンバー一人ひとりが津クラブの重要メンバーであることを意識して奉仕活動、ファンド事業等に当たっていきます。家庭や仕事を大切に、時間や体力面での制約のなかでワイズ活動への実際参加、心的参加を問わず、全員参加のクラブ運営を意識していきたいと思ひます。



## 平和を実現しよう！



金沢犀川クラブ会長  
平口 哲夫

Let's be the peacemakers!

前年度と同じ会長主題を掲げ、この主題に関連した聖句をブリテンの「今月の聖句」とします。また、例会へのゲスト参加を積極的に呼びかけ、入会に繋がる良い出会いに恵まれる機会となるよう心がけます。

「マタイによる福音書」5章10節：平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。(新共同訳)

日本 YMCA 同盟の基本原則：私たち日本の YMCA は、イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、世界の YMCA とのつながりのなかで、次の使命を担います。① 私たちは、すべての人びとが生涯をとおして全人的に成長することを願い、すべてのいのちをかけたえのないものとして守り育てます。② 私たちは、一人ひとりの人権を守り、正義と公正を求め、喜びを共にし、痛みを分かちあう社会をめざします。③ 私たちは、アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます。

YMCA を支援するワイズメンズクラブ国際協会の「国際憲法とガイドライン」第2条第1項：ワイズメンズクラブ国際協会は、イエス・キリストの教えに基づき、相互理解と敬愛の思いに結ばれて、あらゆる信仰の人々が共に働く、世界的友好団体であり、YMCA に対する忠誠心を共にしつつ、活発な奉仕活動を通じて、リーダーシップを開発、助長、供給して、全人類の為よりよき世界を築くべく尽力するものである。

この基本原則や綱領を一口で言い表すならば、「平和を実現する」に尽きると思ひます。



第1回中部評議会 2016年6月11日

ワイズメンクラブ国際協会西日本区中部 2016~17 年度年間スケジュール (予定)

年間行事予定 (2016. 7. 1 現在)

○中部行事予定

2016年8月28日(日) 第20回中部部会  
 2016年9月24日(土) YYY フォーラム  
 2016年11月28日(土) 第2回中部評議会  
 2016年11月28日(土) EMC シンポジウム  
 2017年5月 第3回中部評議会

○西日本区行事予定

2016年7月16・17日 区役員会  
 2016年11月5・6日 区役員会  
 2016年11月5・6日 区準備役員会  
 2017年3月18・19日 会長主査研修会  
 2017年4月8・9日 区役員会  
 2017年4月8・9日 区準備役員会

○合同例会・周年行事

2016年9月8日(木) 東海・南山クラブ合同例会 ラ・スースアン  
 講師 岡本尚男第40代日本区理事(京都キャピタルクラブ)  
 2017年5月14日(日) 名古屋東海クラブ50周年記念例会 名古屋出雲殿

○研修会

2016年7月23日 メネット主査研修会 福岡

○その他国際大会・交流会予定

2016年8月4日～7日 台湾国際大会 台北

2017年2月4・5日 東西日本区交流会 東山荘

○他の部の部会の予定

9月3日(土) 中西部会 ホテルグランヴィア大阪 (ホストクラブ 大阪高槻クラブ)

9月4日(日) 阪和部会 和歌山YMCA (ホストクラブ 和歌山紀の川クラブ)

9月11日(日) 京都部会 グランドプリンスホテル京都 (同 京都プリンスクラブ)

※ 北京都フロンティアクラブ チャーターナイト 同日開催

10月2日(日) 九州部会 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ (熊本ひがし)

10月8日(土) びわこ部会 びわこの船上 (ホストクラブ 彦根クラブ)

10月15日(土) 瀬戸山陰部会 ピュアリティまきび (ホストクラブ 岡山クラブ)

10月29日(土) 西中国部会 山賊 (ホストクラブ 岩国みなみクラブ)

11月12日(土) 六甲部会 ラッセホテル (ホストクラブ 西宮クラブ)

○YMCA行事関連(7月～12月)

7月30日(土) 金沢YMCA創立70周年記念式

8月2日～5日、10日～12日 名古屋市中学生バスケットボール大会

9月24日(土) 名古屋YMCA大会

10月9・10日 日本YMCA大会 東山荘

10月30日(日) 南山ピースフルサンデー

11月12日(土) 名古屋YMCAチャリティラン

12月23日(祝) 名古屋YMCAクリスマスキャロル in タワーズ